

～メモ～

市民センターを拠点とした地域づくりについて 中間発表資料

【会議開催状況等】

- 9月6日（土）付 武里地区地域づくり推進協議会委員を委嘱（13人）
- 9月6日（土） 令和7年度第1回協議会
 - ・春日部市地域づくり推進協議会条例の概要について【報告】
 - ・公民館+地区センター（新たな機能）＝市民センターの概要について【報告】
 - ・令和6年度武里市民センターの事業報告について【報告】
 - ・令和6年度武里市民センター地域づくり推進会議の協議結果について【報告】
 - ・令和7年度の新たな取組について【報告】
 - ・今後のスケジュール及び会議の進め方について【協議】
 - ・市民センターを拠点とした地域づくりに関して必要な意見交換について【協議】
（武里市民センターを拠点とした武里地区の目指すべき理想の姿と理想の姿を実現するための具体的な取組について話し合いにおける意見出しを行う。）
- 9月30日（火） 意見提出締め切り
- 11月21日（金） 令和7年度第2回協議会
 - ・「武里地区の状況」と「地区センター機能」について【報告】
 - ・市民センターを拠点とした地域づくりに関して必要な意見交換について【協議】
 - ・今後、検討したい具体的な取組内容について【協議】
（地域が求める市民センターのあり方と地域住民自身でどのような活動が展開できるかについて話し合う。）
- 1月23日（金） 令和7年度第3回協議会
 - ・中間発表の内容について【協議】

令和8年2月21日（土）

令和7年度 第4回 武里地区地域づくり推進協議会

地域が求める市民センターのあり方

【現状・課題】

- ①市民センターの場所や市民センターで、何が行われているかわからない。
- ②若い世代が魅力を感じていない。
- ③防災、防犯拠点としての、情報が不足している。
- ④一人暮らしの高齢者が安心して生活するための情報が不足している。
- ⑤若い世代から高齢者まで、普段参加していない方も参加しやすい企画が必要。
- ⑥普段参加していない方も参加できる防災訓練が必要。
- ⑦困っていることを相談できる窓口が必要。
- ⑧若い世代の意見を取り入れる機会が少ない。
- ⑨市民センターへ行くことのできる、公共交通が整っていない。



【目指す姿】

- ①地区センターを拠点として、様々な行政サービスが受けられる。
- ②武里地区の情報が効果的に発信され、共有できるようになる。
- ③武里地区には、いつでも行きたくなる、頼りになる市民センターがある。
- ④災害時には、自主的に避難所等を開設出来るようになっている。



目指す姿になるために



【今後の方向性と検討課題】

- ①今後必要とする行政サービスの検討。
- ②情報発信の見直しの検討（少しでも多くの住民に周知できるように、公民館だよりの内容やSNSを活用した情報発信）
- ③誰でも参加しやすいイベント内容の検討
- ④防災訓練の内容や実施回数を見直しを検討



地域住民自身でどのような活動が展開できるか

【現状・課題】

- ①コミュニティ意識の希薄化
- ②武里地区の各種団体間の連携が必要。
- ③外国籍の居住者が増えてきているが、交流する場が少ない。
- ④若い世代の意見を取り入れる機会が少ない。
- ⑤地域で行う防災訓練を続けていく事が必要。
- ⑥自治会加入率を上げることが不可欠。



【目指す姿】

- ①各自治会での催し、地区体育祭などの機会を大事にする。
- ②若い世代の意見を生かしていく。
- ③同年代、多世代、異文化が交流する機会を大切にする。
- ④安心・安全で快適な住みよい武里地区になる。
- ⑤自治会活動が、次世代の人たちへ継承されていく武里地区になる。
- ⑥災害時に連携し合う武里地区になる。



目指す姿になるために



【今後の方向性と検討課題】

- ①地区体育祭等のイベントについては、誰もが参加しやすい楽しい企画を増やせるよう検討
- ②若い人の意見を取り入れる手法を検討
- ③担い手（若者、外国人）を募集、発掘する仕組みの構築を検討
- ④同年代、多世代、異文化が交流するイベント等の開催を検討
- ⑤情報発信の仕方や自治会活動に関する事などを先進事例を参考に検討（先進事例の情報収集やSNS等のデジタル活用に関する勉強会の開催）